



東京医療関連協 2011年の締めくくり

12.17サタデーアピールに32名



新宿南口白衣宣伝

署名のべ149筆

12月17日 新宿駅南口

都立病院の仲間等と構成する東京医療関連労働組合協議会（東京医療関連協）のサタデーアピール宣伝行動は、12月17日（土）、新宿駅南口で行いました。

参加は12組合から32名（うち東京医労連10組合28名）。13時半からの1時間で、集めた署名は、大幅増員・夜勤改善新署名106筆、社会保障署名43筆の合計149筆でした。

年内最後の節目とあって参加も多く、民医労ほくと支部や全日赤・医療センター第一労組では、宣伝後に忘年会等を企画して参加組織をしたそうです。晴れてはいましたが、日影では冬のらしい寒さで、宣伝用に用意した白いヤツケも活躍しました。

サタデーアピール、来年1月は28日、午前11時から正午の予定です。午後には、都民集会も予定されています。来年も、どうぞよろしくお願ひします。

渋谷区議会 自民党・公明党・みんなの党らが反対 請願は不採択に

東京民医労東京勤医会支部と全日赤・日赤医療センター第一労組は、連名で、渋谷区議会第4回定例会（12月議会）に「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める請願」を提出しました。

請願は国会請願の項目の

1. 看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間、勤務間隔を12時間以上とすること。
2. 医療・社会保障予算を増やし、医師・看護師・介護職員などを大幅に増やすこと。
3. 国民負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上3項目について国に対して意見書をあげてほしいというものでした。

付託された総務委員会、本会議共に、**自民党、公明党、みんなの党、無所属クラブの反対**で、不採択となりました。賛成は共産党、民主党、純粋無所属。

結果は残念でしたが、日赤医療センター第一労組の高橋執行委員長は、「（否決されても）次回もくじけず、がんばりましょう」と前向きです。

なお、同議会に社会保障推進協議会（社保協）が提出した「介護職員処遇改善交付金の継続を求める請願」は全会一致で採択され、意見書が提出されました。